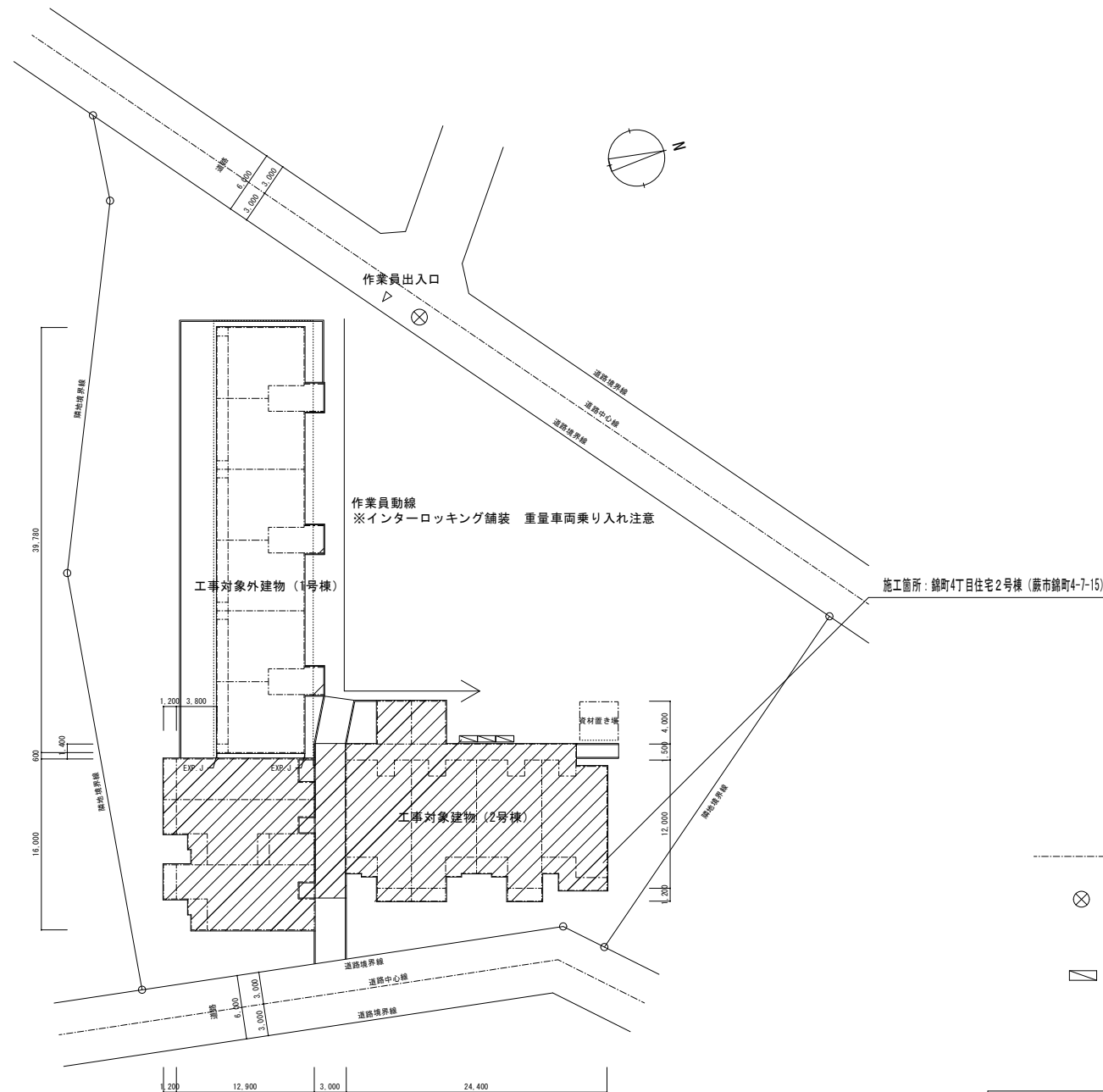
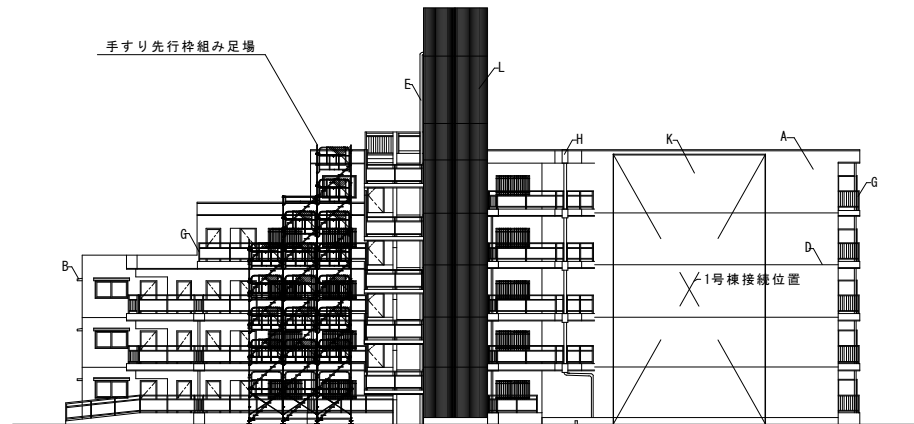




配置図 S=1/300

- ガードフェンス H=1.8
- ⊗ 交通誘導員
(搬入・搬出、クレーン使用時等)
- ▭ 手すり先行枠組み本足場

工事名称 錦町4丁目住宅2号棟屋上防水改修工事			No. 2
図面名	縮尺	設計年月日	
配置図・仮設計画図	1/300	2026. 6. 3	
萩市都市整備部 建築課 公共施設担当			

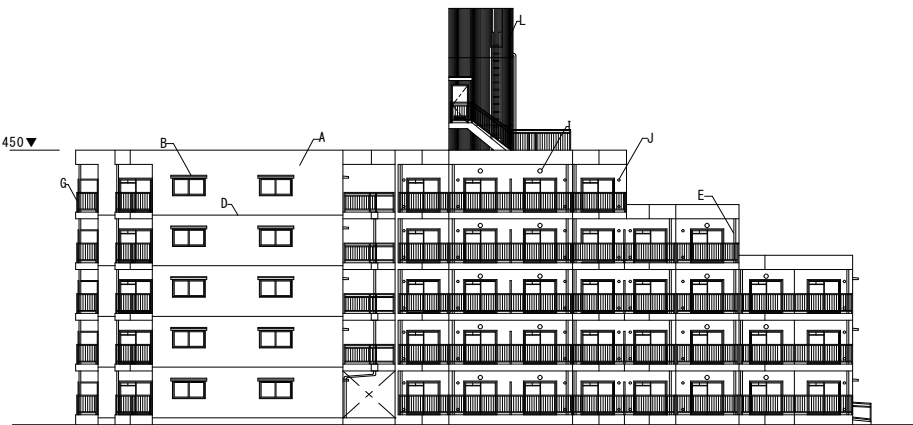


西立面図 S=1/200

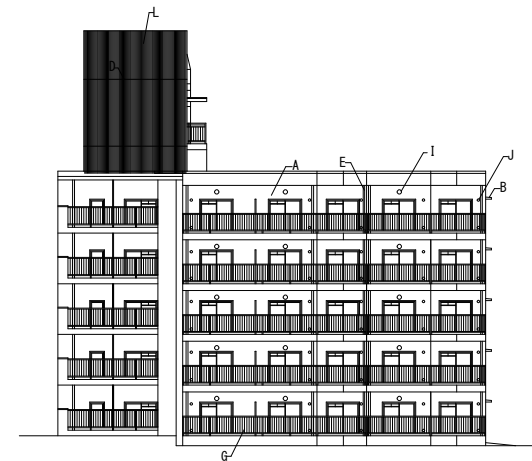


北立面図 S=1/200

パラベット上端GL+14,450▼



東立面図 S=1/200

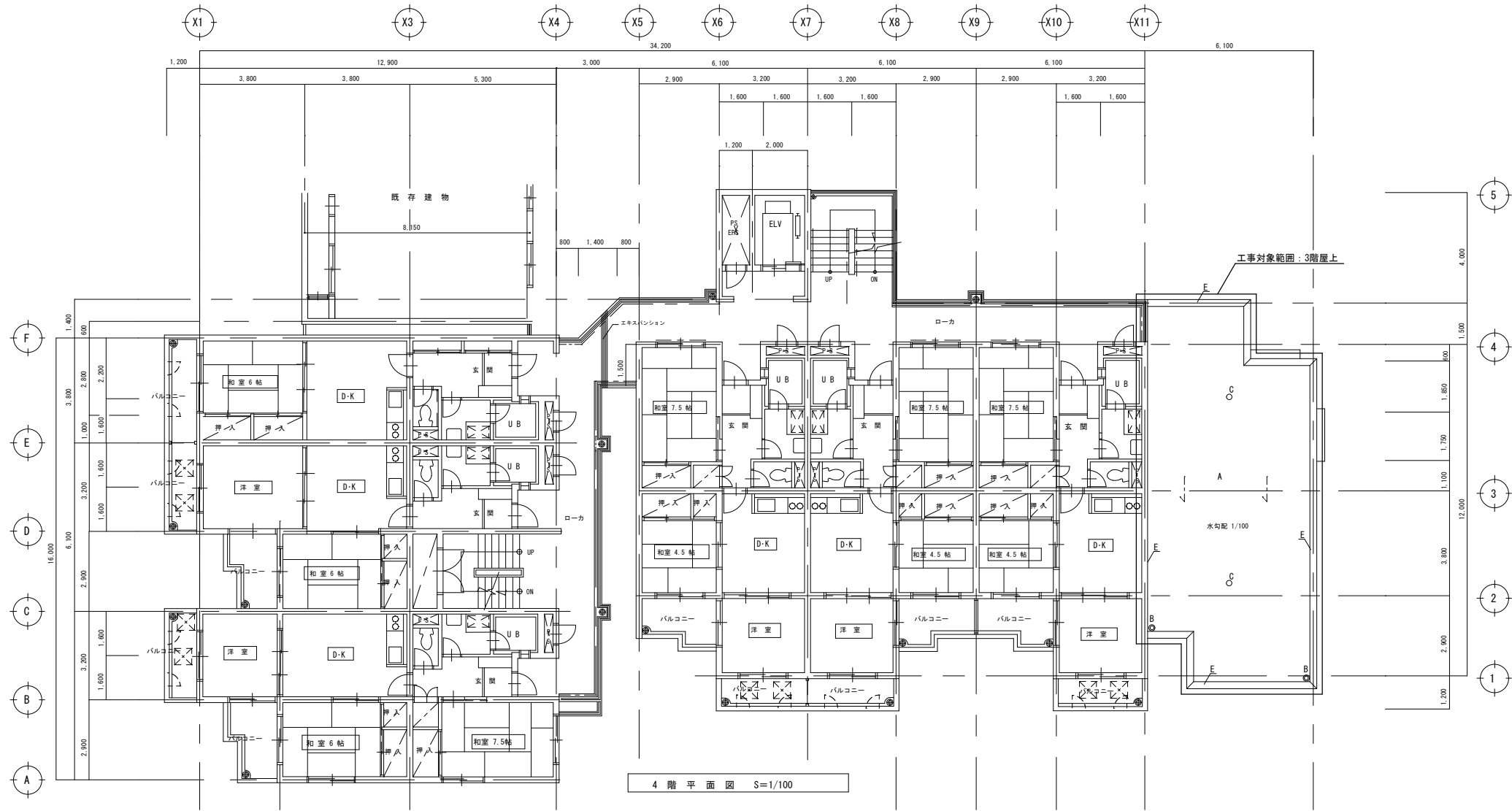


南立面図 S=1/200

凡例（改修なし）

A	コンクリート打放シ補修 吹付タイル 下地調整材石綿含	F	アルミ目隠シパネル	K	コンクリート打放ノママ
B	コンクリート打放シ補修 吹付タイル（トップコートのみ）	G	アルミ手摺	L	化粧型枠コンクリート（SK-S2） 打放シ補修吹付タイル（トップコートのみ）
		H	エキスパンション		
D	打放化粧目地 25×20	I	給気用ガラリ Φ15.4		
E	硬質塩ビ管 75φ	J	エアコン用スリーブ Φ7.5		

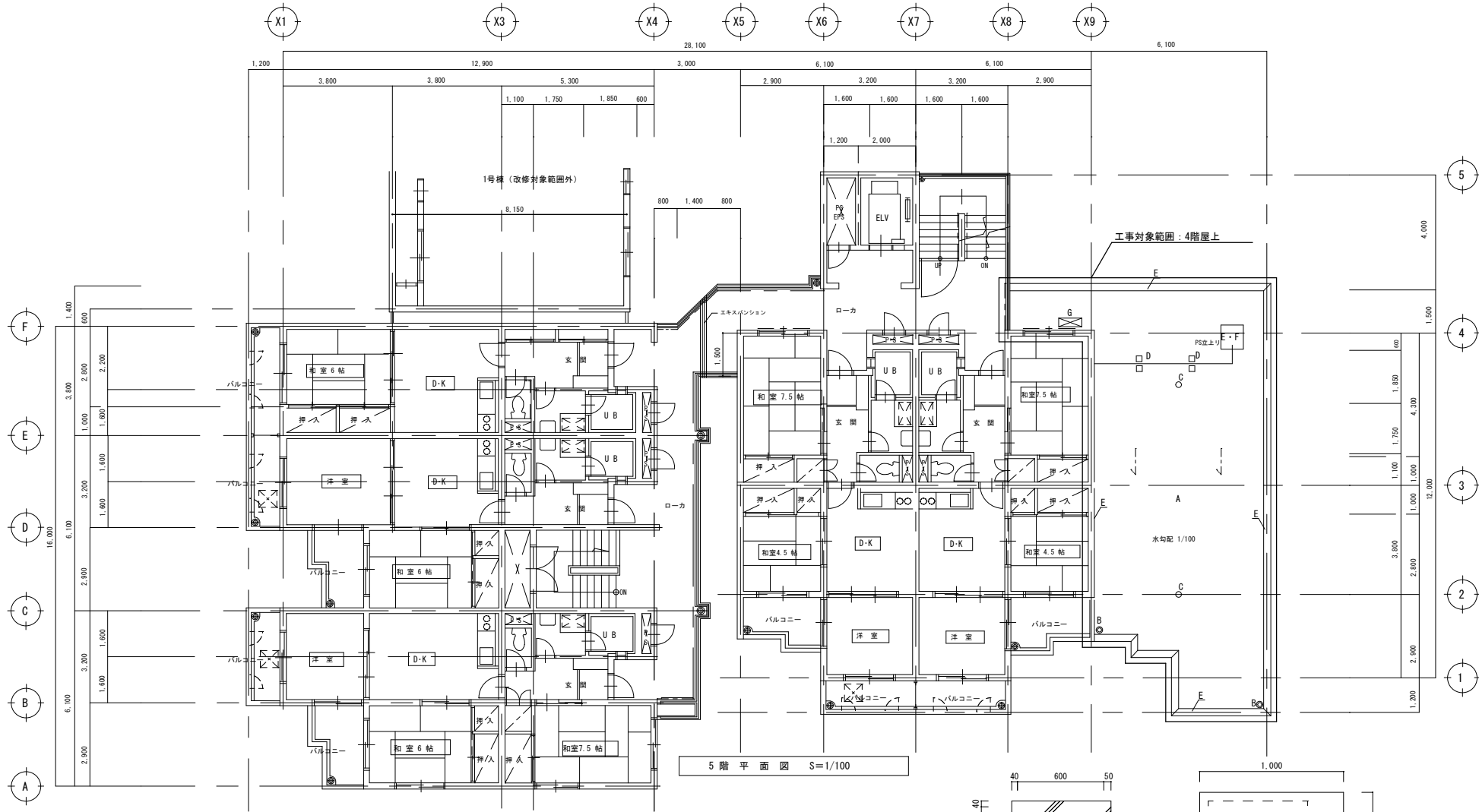
工事名称 錦町4丁目住宅2号棟屋上防水改修工事			No. 3
図面名 立面図・仮設計計画	縮尺（A2） 1/200	設計年月日 2026.6.3	
茨城市整備部 建築課			



改修仕上表 (3階屋上) 3～5階屋上共通：脆弱部ウレタン塗膜防水撤去・補修 (ポリマーセメントモルタル) 設計数量 20箇所

部 位	既 存 仕 様	下 地 処 置 等	改 修 後 仕 様 等
平 場	A コンクリート金ゴテ押え ウレタン塗膜防水 (カラーウレタン)	高圧水洗清掃 下地ごしらえ (乾式アスファルトパネル敷設)	改質アスファルト防水ノンケトル冷熱併用工法 (D-1) 機能性保護塗料塗布 (高反射性保護塗料) 共 基本耐用年数30年・加算耐用年数プラス2年
	B ドレ (鉄鉄製、縦型) 2箇所	既存キャップ撤去・周囲はつり・補修	改修用ドレ (縦型) 新設
	C —	—	脱気装置 (SUS) 新設 (2箇所)
	D —	—	—
パラベット (W=140 H=240～400) 建物壁面立上り (H=400) ※下地調整材石綿含有	E コンクリート金ゴテ押え ウレタン塗膜防水 (カラーウレタン)	デッキブラシ水洗い清掃	改質アスファルト防水常温複合法塗膜仕上げ (D-1) 機能性保護塗料塗布 (高反射性保護塗料) 共

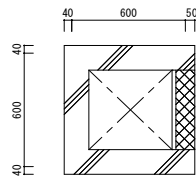
- ※ 改質アスファルト防水ノンケトル冷熱併用工法：BANKS工法 (田島ルーフィング株式会社JSX-025-TH) 同等以上とする。
※ 改質アスファルト防水常温複合法塗膜仕上げ (立ち上がり仕様)：レイヤオール工法 (田島ルーフィング株式会社JSV-025-TH塗膜防水工法 (SLV-T-TH)) 同等以上とする。
※ 機能性保護塗料 (高反射性保護塗料)：SPサーモコート2回塗り (田島ルーフィング株式会社) 同等品以上とする。
※ ポリマーセメントモルタル：リグラー (田島ルーフィング株式会社) 同等品以上とする。
※ 下地補修数量については、現地調査により実測し、監督員の承認を受けるものとする。



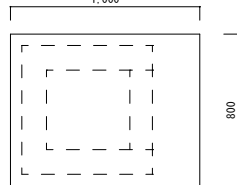
改修仕上表 (4階屋上) 3～5階屋上共通: 脆弱部ウレタン塗膜防水撤去・補修 (ポリマーセメントモルタル) 設計数量 20箇所

部位	記号	既存仕様	下地処置等	改修後仕様等
平場	A	コンクリート金ゴテ押え ウレタン塗膜防水 (カラーウレタン)	高圧水洗掃 下地ごしらえ (乾式アスファルトパネル敷設)	改質アスファルト防水ノンケトル冷熱併用工法 (D-1) 機能性保護塗料塗布 (高反射性保護塗料) 共 基本耐用年数30年・加算耐用年数プラス2年
	B	ドレン (鋳鉄製、縦型) 2箇所	既存キャップ撤去・周囲はつり・補修	改修用ドレン (縦型) 新設
	C	—	—	脱気装置 (SUS) 新設 (2箇所)
	D	門型配管架台 (L77×H50×50t4 H560) コンクリート基礎	下地調整R種 撤去	DP塗装 (1級) 新設 (ゴムシート共)
バラベツト (W=140 H=220～440) 建物壁面立上り (H=400) PS立上り ※下地調整材石綿含有 PS立上り屋根	E	コンクリート金ゴテ押え ウレタン塗膜防水 (カラーウレタン)	デッキブラシ水洗い清掃	改質アスファルト防水常温複合工法塗膜仕上げ (D-1) 機能性保護塗料塗布 (高反射性保護塗料) 共
ルーフエアコン室外機	F	コンクリート金ゴテ押え・塗装仕上げ	高圧水洗掃 一時撤去	改質アスファルト防水常温複合工法塗膜仕上げ (D-1) 機能性保護塗料塗布 (高反射性保護塗料) 共 再設置
	G	—	—	—

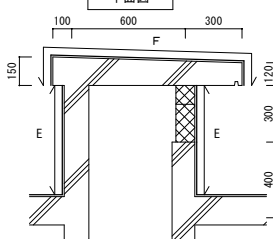
※ 改質アスファルト防水ノンケトル冷熱併用工法: B A N K S工法 (田島ルーフィング㈱JSX-025・TH) 同等以上とする。
※ 改質アスファルト防水常温複合工法塗膜仕上げ (立ち上がり仕様): レイヤール工法 (田島ルーフィング㈱SLV-T・TH (JSV-025・TH (塗膜防水工法)) 同等以上とする。
※ 機能性保護塗料 (高反射性保護塗料): SPサーモコート2回塗り (田島ルーフィング㈱) 同等品以上とする。
※ ポリマーセメントモルタル: リグレー (田島ルーフィング㈱) 同等品以上とする。
※ 下地補修数量については、現地調査により実測し、監督員の承認を受けるものとする。



平面図



屋根平面図

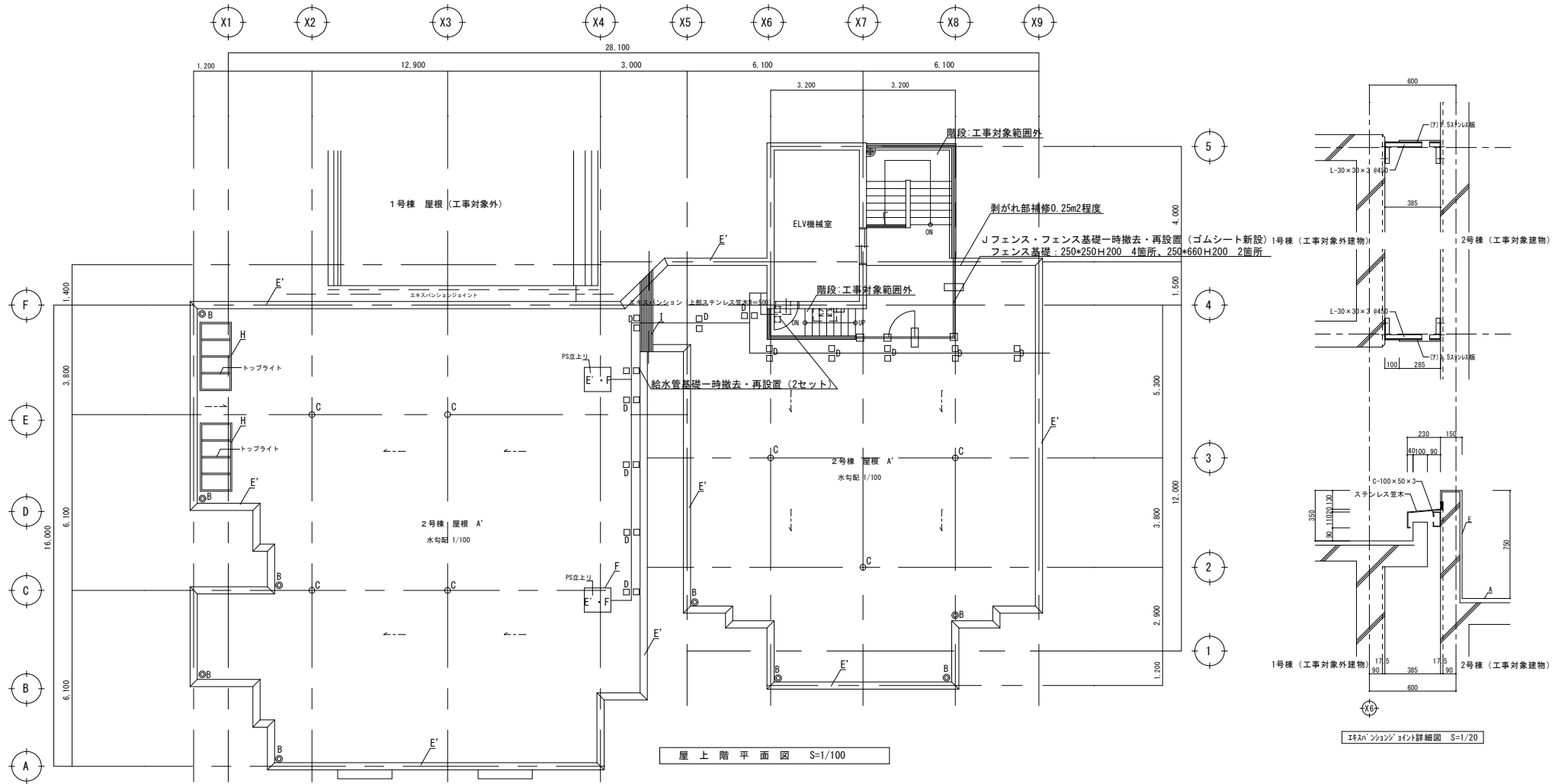


断面図

PS立上り詳細図 S=1/20

工事名称 錦町4丁目住宅2号棟屋上防水改修工事	
図面名 5階平面図・PS立上り部詳細図	縮尺 (A2) 1/100・1/20
設計年月日 2026.6.3	No. 5

株式会社 藤井 建築 設計



改修仕上表（5階屋上） 3～5階屋上共通：脆弱部ウレタン塗膜防水撤去・補修（ポリマーセメントモルタル） 設計数量 20箇所

部 位	記号	既 存 仕 様	下 地 処 置 等	改 修 後 仕 様 等
平 場	A'	コンクリート金ゴテ押え ウレタン塗膜防水	高圧水洗清掃 下地ごしらえ（乾式アスファルトパネル敷設）	改質アスファルト防水ノンケトル冷熱併用工法（D-1）機能性保護塗料塗布（高反射性保護塗料）共 基本耐用年数30年・加算耐用年数プラス2年
	B	ドレ（鋳鉄製、縦型）9箇所	既存キャップ撤去・周囲はつり・補修	改修用ドレ（縦型）新設
	C	—	—	脱気装置（SUS）新設（7箇所）
	D	門型配管架台（L75×50×50t4 H560） コンクリート基礎	下地調整R6種 撤去	DP塗装（1級） 新設（ゴムシート共）
	E'	コンクリート金ゴテ押え ウレタン塗膜防水	高圧水洗清掃	改質アスファルト防水常温複合工法塗膜仕上げ（D-1）機能性保護塗料塗布（高反射性保護塗料）共
パラベット （W=140 H=240～440） 建物壁面立上り（H=400） PS立上り				
PS立上り屋根	F	コンクリート金ゴテ押え・塗装仕上げ		
トップライト立上り	H	コンクリート金ゴテ押え・ウレタン塗膜防水		
笠木（鉄板・ジョイント板）	I	ステンレス W=500	撤去	新設
フェンス・フェンス基礎	J	—	一時撤去	再設置（ゴムシート新設共）

- ※ 改質アスファルト防水ノンケトル冷熱併用工法：BANKS工法（田島ルーフィング株式会社JSX-025・TH）同等以上とする。
※ 改質アスファルト防水常温複合工法塗膜仕上げ（施工部全て立ち上がり仕様）：レイヤール工法（田島ルーフィング株式会社SLV-T・TH）同等以上とする。
※ 機能性保護塗料（高反射性保護塗料）：SPサーモコート2回塗り（田島ルーフィング株式会社）同等品以上とする。
※ ポリマーセメントモルタル：リグラー（田島ルーフィング株式会社）同等品以上とする。
※ 下地補修数量については、現地調査により実測し、監督員の承認を受けるものとする。

